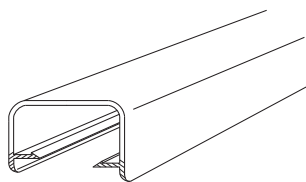


『KTパッキングS』の取付説明書／戸車仕様(オプション)含む

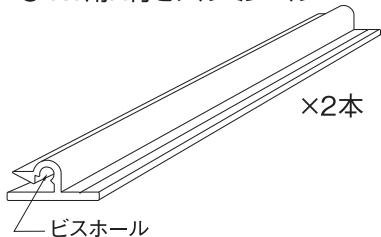
☆☆☆ 取り付けは、当説明書に従っておこなってください ☆☆☆

商品の名称

● KTパッキングS

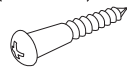


● KT用H付きアルミレール



×2本

取付用木ネジ
(3.1×20)

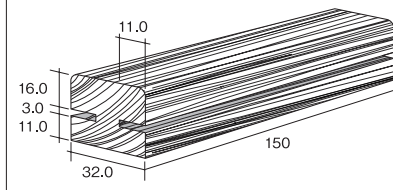


ビスホール用ビス
(3×10)



● オプション

KT切断用型材(2ヶセット)



● 付属品(ビス関連)

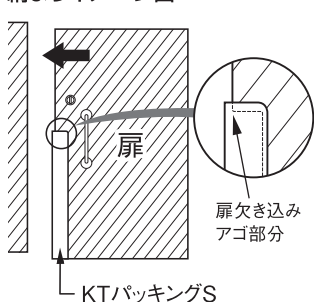
L寸1500 mm品→(KT用H付アルミレール1本につき/取付用木ネジ6本+ビスホール用ビス1本)×2セット

L寸2500 mm品→(KT用H付アルミレール1本につき/取付用木ネジ9本+ビスホール用ビス2本)×2セット

【ご注意その1】

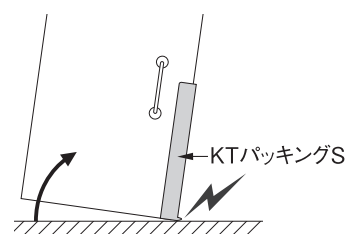
カマ錠を上部に移動し扉を欠き込んだ部分にKTパッキングSを取付ける場合、欠き込みの角(アゴ)部分をパッキングの軟質部で覆うことで安全が保たれます。ただし、施錠時、カマ錠のアソビが3mm以上あるタイプを基本としています。それ未満の仕様では施錠できなくなる場合があります。

納まりイメージ図



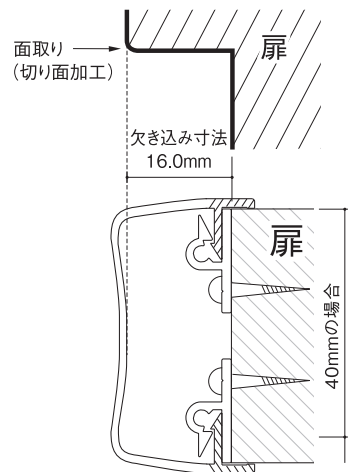
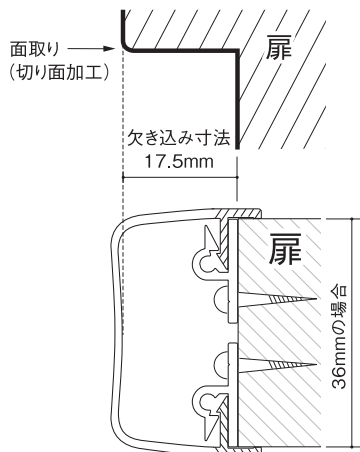
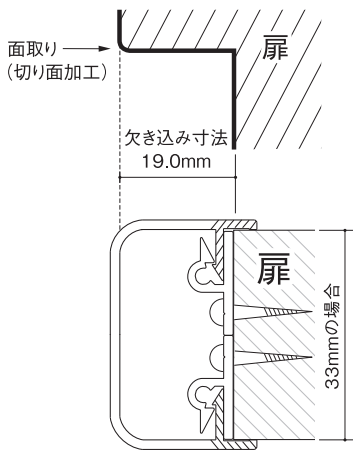
【ご注意その2】

硬質と軟質の接合部に必要以上の強い圧が掛かると亀裂・劣化のおそれがあります。搬出入時、および設置時の取扱いには、充分ご注意ください。



扉の厚みと欠き込み寸法

アゴ部分3方は必ず面取り(または3mm切り面加工)してください。



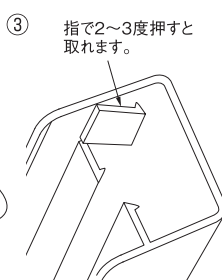
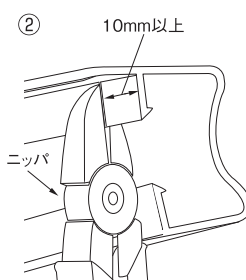
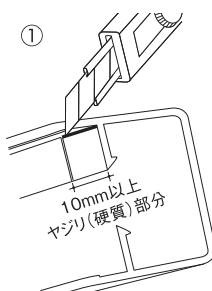
※欠き込み寸法は目安です。

取り付け手順

1 切り欠き部にアゴにかぶせる場合、ヤジリ(硬質)部分のみ切り取ってください

★切り欠きの寸法を設定する際、当素材は寒暖差により伸縮しますので+5mm程深めにカットすることをお勧めします。

- ① 切り取るヤジリ(硬質)部分の根本にカッターで切れ目を入れてください。(数回に分けて切り込んでください)
- ② 切れ目を入れたらその根本に向けて垂直にニッパの刃先を入れて切断してください。(万能ハサミは不可。他の部分が割れることがあります)
- ③ 不要のヤジリ(硬質)部分を指で数度に分けて押すことで簡単に取れます。



2 KTパッキングSとKT用H付アルミレールを切断する

①KTパッキングSの寸法を確認

パッキングの切断寸法は、アゴをかぶせる部分を考慮して切断寸法を決めてください。

その際、伸縮することを想定してください。

(右図②-①参照)

②KTパッキングSの切断方法

切断時、型材で、本体がガタつかないようにパッキングをしっかり手で押さえて、卓上電動丸ノコなどで切断してください。(右図②-②参照)

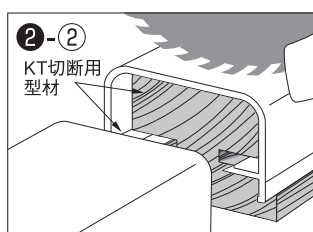
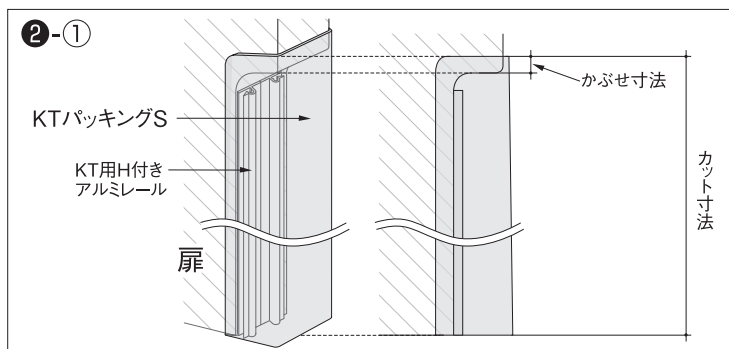
〈ご注意〉

しっかり固定しませんと丸ノコ刃の勢いで硬質部分が破損します。

【オプション】

右図「KT切断用型材」を別売にてご提供しております。

●セット販売(長さ150mm×2ヶ入り)



※パッキングを短く微調整する場合丸ノコでのカットは行わず、もう一方のヤジリ(硬質)部分をカットしてかぶせ寸法を深くすることで長さの調整を行ってください。

(1ページ『取り付け手順①』参照)

③KT用H付アルミレールの切断方法

電動丸ノコなどで切断してください。寸法の微調整は、グラインダーなどで調整してください。

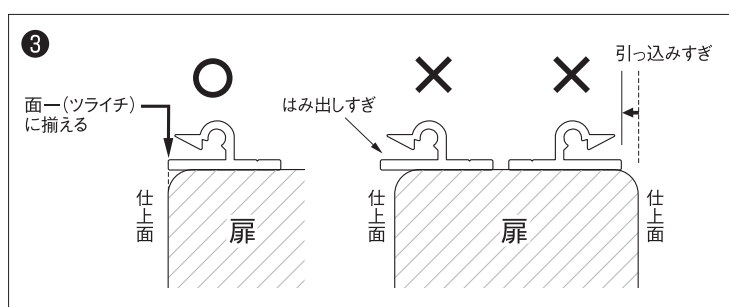
(注)切断面は、必ずバリ取り処理を行ってください。→戸車仕様の場合はこれより3ページの『取り付け手順(その2)』へ

3 扉小口面にKT用H付アルミレールを取り付ける

シャクリ小口面に設置する際、アルミレールの勘合口が、外向きになるようにビス固定してください。扉仕上げ面とアルミレール端部が必ず面一(ツライチ)になるように取り付けてください。パッキングが、アルミレールに嵌合できなくなります。

(右図③参照)

※ビス固定の前に両面テープ等で仮留めするとすれにくくなります。



4 KT用H付アルミレールにKTパッキングSを挿入する

パッキングの硬質ヤジリ部分をアルミレールの勘合部分に扉の下側から挿入してください。

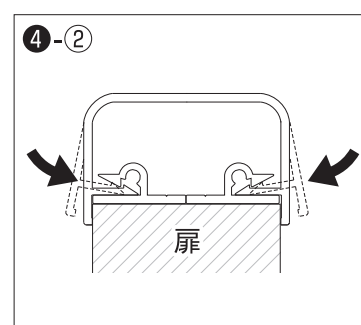
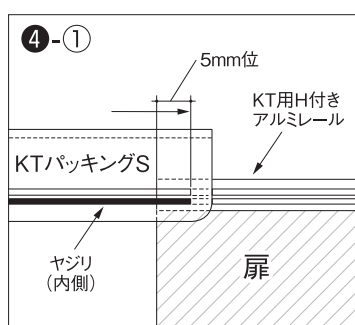
【かんたん嵌合方法】

①パッキングの先端のヤジリ(硬質)部分とアルミレールの端から5mm位の嵌合部同士を重ねます。

(右図④-①参照)

②そのまま左右両側から指で同時に強く加圧しそれぞれが「パチン」と音がしましたら嵌合完了です。

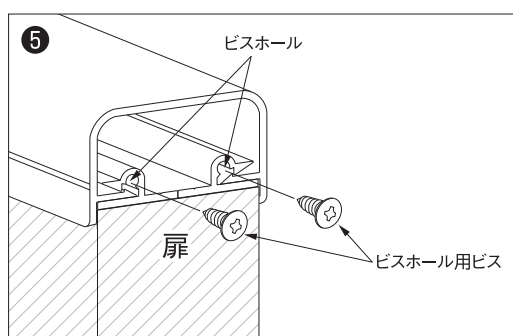
(右図④-②参照)



5 KTパッキングSを固定する

パッキングをアルミレールに挿入したら、最後にアルミレールのビスホールに、付属のビスホール用ビスを左右2か所留めてください。(右図⑤参照)

※取り付け後、パッキングが落ちないかを確認してください。



戸車仕様の場合

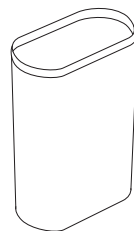
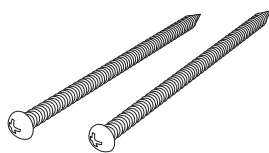
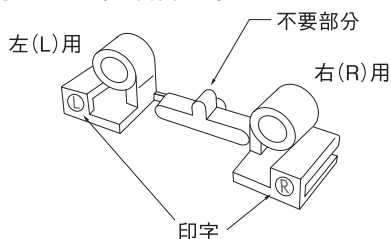
商品の名称

● KT用コネク(左右各1ヶ)/PP製

● 付属ビス/鉄
(30×60)

● オプション

KT型抜き用治具/
ステンレス製
抜き穴サイズ(8×15)



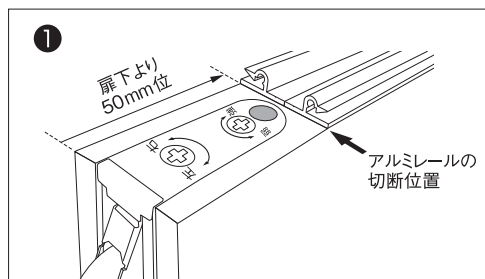
取り付け手順(その1)

戸車仕様の手順に入る前に、1~2ページ見開きの『取り付け手順 ① ~ ②-③』に準じてください。

取り付け手順(その2)

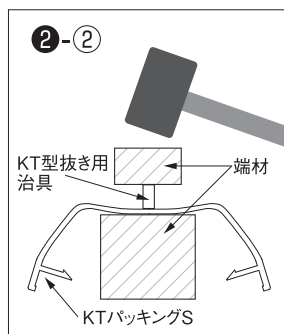
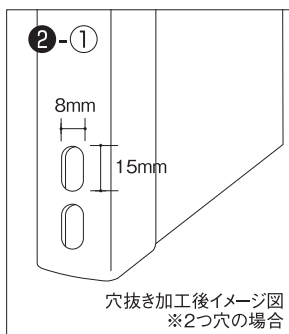
① KT用H付アルミレールは戸車金具の手前で切断する

- ① 戸車金具への影響がない位置(扉下より50mm位)でアルミレールを切断してください。
(右図①参照)
- ② 取り付けする際には、「取り付け手順」(2ページ③)を必ず確認してから位置決めするようにお願いします。



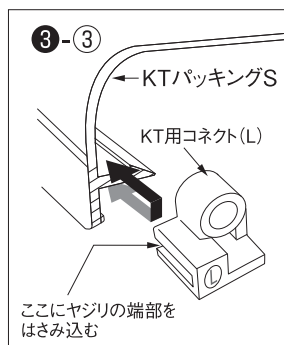
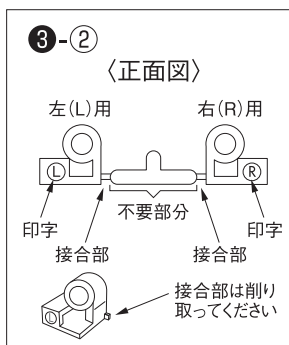
② KTパッキングSに型抜き用治具(オプション)で穴を開ける

- ① 戸車調整用のビスが操作できるように穴の位置を決めてください。(右図②-①参照)
- ② 穴の位置が決まりましたら、パッキングに「KT型抜き用治具」で穴を開けてください。
(注)KT型抜き用治具をパッキングに打ち込む際には、必ずパッキングの上下に“当て木”などの端材を充てて行うようにしてください。
(右図②-②参照)



③ KT用コネクをKTパッキングSにはめ込む

- ① パッキングをアルミレールに嵌合させてください。
(2ページ④参照)
- ② KT用コネクを本体軸から「L」(左用)と「R」(右用)をそれぞれ外してください。
(注) 取り外した際、接合部がKT用コネク側に残った場合は、カッターなどで削り取ってください。(右図③-②参照)
- ③ パッキングの端部にヤジリ(硬質)部分を挟み込むようにKT用コネクをはめ込んでください。
※左(L)、右(R)がありますので向きを確認してください。
(右図③-③)



④ 付属ビスでKTパッキングSを固定する

- ① 付属ビス(3×60)をKT用コネクの穴を經由し、アルミレールのビスホールに電動ドライバー等で打ち込んでください。
(注)あまり勢いよく打ち込みますとKT用コネク(PP製)が破損する原因となります。また、ねじ込みが強くKT用コネクが傾いた場合、パッキング自体が変形した状態になります。付属ビスをゆるめてKT用コネクの位置の修正をお願いいたします。
(右図④-①参照)

